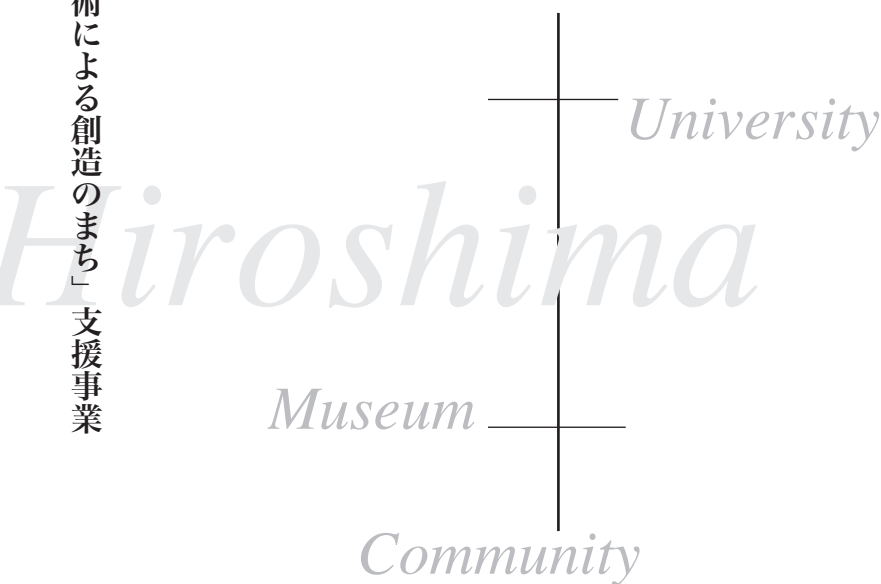


広島にある美術館と大学、

地域との連携をめぐって

美術館や大学では、美術について知りたい人たちのために、様々なプログラムを提供しています。美術作品を見たり、学んだり、さらには、作ったりする機会も増えていきます。美術を通じ新しい地域や街との繋がり、広がり築くため、美術館、大学、地域は、どうすればより効果的な連携を行うことができるのでしょうか。金沢の事例を交え、広島市内の美術館学芸員や大学の教員と共に討論します。



平成20年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業

パネリスト (50音順)

- 神谷幸江 (広島市現代美術館学芸担当課長)
古谷可由 (ひろしま美術館主任学芸員)
松田弘 (広島県立美術館学芸課長)
柳幸典 (広島市立大学芸術学部准教授/アーティスト)
鷺田めるろ (金沢21世紀美術館キュレーター)

モデレーター

- 加治屋健司 (広島市立大学芸術学部准教授)

日時 __ 2009年1月12日 (月・祝) 14:00 - 15:30

会場 __ 広島市現代美術館ミュージアム・スタジオ (広島市南区比治山公園 1-1)

主催 __ 広島アートプロジェクト実行委員会 広島市現代美術館

お問い合わせ先 __ 731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1 広島アートプロジェクト実行委員会
E-mail: HiroshimaArtProject@gmail.com Tel/Fax: 082-830-1635